

わたしは、11月に猪名川町立図書館で行われた、「ビブリオバトル」に参加しました。図書館でポスターを見て、やってみたくも思ったからです。「ビブリオバトル」とは、自分が面白いと思った本をみんなの前で発表し、「どの本が一番読みたくなったか」を競い合うものです。前に出て発表するのは、とてもすきだけれど、たくさん大人の前で発表するのは、ちよっときんちようして、声あまり出ませんでした。

わたしは、11月に猪名川町立図書館で行われた、「ビブリオバトル」に参加しました。図書館でポスターを見て、やってみたくも思ったからです。「ビブリオバトル」とは、自分が面白いと思った本をみんなの前で発表し、「どの本が一番読みたくなったか」を競い合うものです。前に出て発表するのは、とてもすきだけれど、たくさん大人の前で発表するのは、ちよっときんちようして、声あまり出ませんでした。



土井 ひなたさん
(9歳)
白金小学校3年

友だちもいっしょに出たいなと思います。そして、今わたしががんばっている曲は、「アルプスの夕ばえ」と、先生とれんだんする、「ハンガリアンダンス」です。ピアノを始めたのは4才の時、初めはおこられてばかりで、やめたいと思った時もあったけれど、もっと難しい曲をひけるようになりたいと思ったから、やめませんでした。ひき終わった時、「やったぞ！」というたっせいかんをかんだいから、ふだんよりも、たくさん練習しています。発表会では、かわいいドレスを着られるのが、楽しみです。



※「瞬」の掲載希望者を随時募集中。詳細は町ホームページの募集情報を参照してください。

～猪名川町観光ボランティアガイドがご案内～
私のオススメ

いながわの冬の風物詩 “寒天” 作り



今月の担当ガイド
石田 玄三さん

今では猪名川町の冬の風物詩としてすっかり有名となっている寒天作りを紹介いたします。ほとんどの寒天が、工場生産の固形・粉末製品が中心となっている中で、昔ながらの手作りの寒天は全国的にも減ってきています。以前は川西、西宮、高槻あたりで盛んであったものの京都府亀岡市の業者が廃業したため関西ではここ1軒のみとなりました。

その唯一の阿古谷で手作り寒天を作っている井谷恭一さんにお伺いすると、他エリアでも岐阜県山岡町で10軒、長野県で1軒あるのみで、井谷家として明治18年に



寒天の天日干し

この乾燥工程の「天日干し」がいわゆる風物詩といわれる姿を表しています。納入先はほぼ100%京都の問屋へ納めており、小売りはしていません。

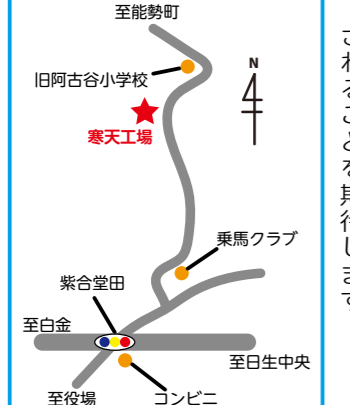


テングサ

創業してからご本人が4代目となり最後の皆として頑張っていること。原料であるテングサは、昔と比べると国産品は少なくなっており、高知・伊豆・和歌山などで約50%、残りは韓国などの輸入品を使っています。

製造工程を説明すると、まず国産と輸入品のテングサを調査します。うまく調査し、いかに品質を保てるかが一番大切なことです。次に濾過することにより寒天液と海藻カスを分離し、さらに凝固作業に入り、ところどころでできます。出来上がったところを糸状に刻み、最後に約1週間乾燥させ商品として完成となるそうです。

【健康食としてオススメ】寒天そのものは低カロリーで、しかも吸水力があり少量でも満腹感が長持ちするというメリットもあります。体にやさしい食品である寒天を大いに消費しましょう。最後は宣伝文句となっておりますが、町の地域貢献のうえでも、この手作り寒天が継続されることを期待します。



▶町観光ボランティアガイドの申込・問合せ 産業観光課 ☎ 766 - 8709

道の駅 いながわだより

今月のピックアップ野菜

ミズナ (道の駅での入荷時期 11月下旬～3月頃)
ミズナの変種で、京都の壬生地区で栽培されていたことからミズナと呼ばれています。ミズナと違い葉にギザギザがなく細長く丸い形をしています。少しピリッとした辛さと歯応えの良さが特徴で、ミズナと同じく鍋料理やお浸し、煮物などに出来ます。また、漬物にされることも多く、京漬物の壬生菜漬は広く好まれています。



《2月のイベント》

22日(日) 午前10時～午後3時＝いなぼうまつり (そば手打ち実演・販売(猪肉そば)、いなぼうのジャンケン大会、猪汁の振る舞い、三木の金物販売・刃物研ぎなど)



2月の主な出荷野菜 生しいたけ・ほうれん草・大根・白菜・人参・ネギ・キャベツ・ミズナ・小松菜・小かぶ・わさび菜・ブチヴェール など

▶問合せ 道の駅いながわ ☎ 767 - 8600



「ザリガニとても強そうです。赤ちゃんもいるよ。色を工夫しました。」
山下 美穂さん (年長)



「プールのシャワーが顔にいっぱいかかってもへっちゃらだよ！」
坂根 莉子さん (年少)



「かわいいルカの親子が、気持ち良さそうに泳いでいたよ。」
嶋野 朱莉さん (年少)



「幼稚園でとれた大根、大きかったよ。はっぱもよく見て描きました。」
松本 直太郎さん (年長)

つつじが丘幼稚園 こども作品コーナー